

女性懇談会進捗状況(加子母地区)

※ 懇談会で出た質問全てが掲載されているわけではありません。
 ※ 答弁者の役職名は開催当時のものです。

市民病院の存続について

平成 22 年度

総務人事課 1040

質問 (加子母地区住民)

(要望ではないので今後広報やHPで知らせてくれればいい)
 これからの中津川市の中核病院として市民病院の存続をお願いしたい。開業医と連携して総合病院として存続して欲しい。
 高齢化社会ではかけこみ寺的な近い医療機関も大事だが、検査などの際は市民病院の存在大きい。それぞれの病院が今ある診療科の充実を図って、無い科の診療は他の病院で補えるのでは。
 市民も健康づくりなどに目を向けて医療を受ける環境作りも大事。地域の医療機関との連携なども含め、自分たちも一緒になって良い市民病院を作っていけるよう、協力できることがあれば広報などで知らせて欲しい。

答弁 (市長)



市民病院は公的医療機関として高度機械を使える専門医を配置して高度医療を行うのが役割。
 市民病院は2次医療の東濃地域の中核病院であり、中津川、恵那の専門病院としての機能を担う設備とスタッフが必要。人口の少ない地域は開業医が少ないので診療所など地域医療が必要。高度医療と地域医療のバランスをとって提供するのが市役所の役割。
 患者の多い(開業の多い)市街地では高度医療が必要でない場合には開業医(かかりつけ医)にかかってもらうなどの取り組みを進めている。また、坂下病院に地域医療を支える拠点病院にと構想。市民病院とうまく組み合わせしていきたい。
 医師不足は全国的課題。産科・内科で特に医師不足。市民病院では医師の負担軽減のために内科の初診外来は開業医などでまず受診し、市民病院へ紹介してもらうよう市民に協力をお願いしている。市民も病気について勉強というありがたい話があったが、市も市民と協力して体制作りをしていくことも大事。
 大学病院から医師を派遣してもらえない、医師確保が一番の課題。市民と協働でやっていきたい。

実施済・実施中の事項



現在、広報なかつがわに毎月、病院の取り組みや市民のみなさんにご理解願いたいこと等を掲載しています。

今後の計画等

広報やホームページを活用し、積極的に働きかけていきます。

予定日

高校通学のバス代について

平成 22 年度

情報交通課 1043

質問 (加子母地区住民)

加子母地区で高校通学のバス代が問題になっているので具体策を今わかっている内容を教えてください。

答弁 (市長)

○
高校授業料無料化によっても通学費用の問題は消し去られない。
中山間地は通学費用がかさむが、高校が義務教育的になっている現状から、行政サービスとしての公平性からも同じサービスを同じ費用で受けられるようにという観点からバス代助成を考えている。
岐阜県下の平均的通学費用を上まわる部分が不公平な部分と考え、どのくらいそれに助成するのかつめているところ。中津ではなく恵那など市外に選択して行かれている場合は平均的助成(中津川の駅へ行く部分を対象とするなど)としたい。
通学に時間がかかるのは仕方ないが、金銭面での不公平感を是正、中山間地域としての負担感を減らす。具体的には予算編成のなかで取り組んでいく。

実施済・実施中の事項

■
・平成21年度にバス通学保護者との意見交換会を実施し平成22年度には「中津川市高校バス通学連絡協議会」が設置されました。
・同協議会では、保護者負担の軽減策が議論され同年10月には、市長、教育長、議長に補助金を含む支援策の要望が行われました。
・要望を受け平成23年度予算には12、300千円の要求を行いました。
・平成23年4月より交通事業者、各高等学校への制度説明と周知活動等を実施し補助制度を開始しました。
・バス通学制度の概要バス通学定期等購入費から月額8、000円年額96、000円を控除した金額の1/3を補助金として交付します。

今後の計画等

・中津川市高校バス通学連絡協議会と協力し平成23年度の補助事業を検証し維持します。
・同協議会においてより一層保護者負担の軽減策の検討を継続します。

予定日

加子母の保育園について

平成 22 年度

幼児教育課 1045

質問 (加子母地区住民)

加子母保育園では保育士が加子母出身の20年以上の勤務をされた、特色のある保育があった。
加子母出身以外の保育士がいても加子母出身がいいという声も減ったが、在勤期間が短い。長い目で保育をしていただくにはある程度の期間勤務してほしい。人事異動について配慮を。他の地域についても同じ意見があるなら、加子母のわがままではないので検討を。

答弁 (市長)

▲
保育園は市の健康福祉部で幼稚園は教育委員会だったが、教育委員会幼児教育課で統合し、学童保育も健康福祉部から教育委員会事務局へ移管。子の育ちという観点からまとめて見てもらっている。
加子母らしい、加子母ならではの取り組みを担う保育士の勤務の入れ替わりについては一概には言えないが、加子母の特色を理解して保育を行うことは大事。加子母以外から転勤した保育士の取り組みについては保護者の感覚と保育士の感覚などいろいろ聞いてみて、また加子母以外の地域の話も聞いて調べて検討したい。
最終的にはそれぞれの地域にあったものを。合併当時に「加子母教育」想い強いことは感じてきた。幼児教育課とやり取りして検討していきたい。地域における子どもの成長という観点から、家庭と学校を支援する形で地域が関わっていくことを考えていきたい。PTAにコミュニティのCを加えてPTCAで取り組んでいくよう地域で考えてほしい。

実施済・実施中の事項

■
学校規模適正化検討委員会から「適正化と、公平・公正など適正な保育サービスの提供」を答申いただきました。人事につきましても、保育サービスの均一化が重要と考え、異動することにより他地域の特色や取り組みを吸収したり伝えたりするメリットがあるため、ある程度の異動は必要不可欠であります。しかし地域に根ざした保育も重要であるため地域に詳しい職員を配置する等の適材適所に努めます。

今後の計画等

予定日

予防接種費用の助成

平成 22 年度

健康医療課 1048

質問 (加子母地区住民)

子宮頸がん、ヒブワクチン接種に助成はいつからどのくらいなのか？インフルエンザ予防接種にも助成をしてほしい。

答弁 (市長)

子宮頸がん、ヒブワクチン 声が上がっていることは認識している。前向きに取り組む(9月議会答弁)としているが国の予算編成と市の予算編成と連動する形で考えていきたい。1月末にかけて取り組みを検討し、23年度当初予算から取り組むと考えている。インフルエンザについても議論あることは承知している。重篤性からまずは子宮頸がん、ヒブワクチンに取り組むがインフルエンザについては今後の課題。

実施済・実施中の事項

- 平成22年度インフルエンザ予防接種の助成については、65歳以上の高齢者の方は、1回1500円の自己負担で接種できるよう助成を行っています。
- 平成22年度住民税非課税世帯については、住民税非課税世帯であることを確認し、新型インフルエンザ予防接種費用助成の申請を行うことで助成券を発行し世帯員全員について無料で接種出来るよう助成を行っています。
- 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン接種、小児用肺炎球菌ワクチン接種については平成23年度から予防接種を行っています。個人負担額については無料で実施しています。
- 子どものインフルエンザ(1歳から中学3年生)については検討を行った結果今年度は10月17日から12月17日の間に自己負担1回1500円で接種できるよう事業を行います。

今後の計画等

平成24年度以降の子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン接種については、引き続き実施する予定です。

予定日

新火葬場について

平成 22 年度

市民課 1051

質問 (加子母地区住民)

新しい火葬場はどこにできるのか、加子母の施設はどうなるのか。
新火葬場が旧中津川市に建設されると3時間もかかる。加子母に近いところ田瀬あたりならかかる時間も許せる範囲。

答弁 (市長)

旧中津川市の斎場もかなり古いので、市民レベルで市議会議員も入って検討委員会設置、年度内を目処に検討してもらっていたが、担当部署である生活環境部はミックス事業も担当しているので今は手が回らない。検討委員会の結論も先送りの状態。
新火葬場の位置は検討委員会に委ねている。加子母からは3時間かかるというのは課題だが、検討委員会で検討しているのは1箇所。検討委員会へこのような課題を伝えていく。
現状について補足説明(加子母所長)
H21 付知98件・加子母55件・計153件。
H22 付知56件・加子母28件の利用。
加子母の斎場は煙道にヒビ、レンガ落ちている。斎場のスイッチ入れる部屋に煙が漏れる(11月3日～故障中)。
付知の斎場はH21改修済み、加子母からも利用できる。

実施済・実施中の事項

新火葬場建設検討委員会の議論が終了し、H23.5.23市長に報告書が提出されました。(報告書の結論)
①新火葬場の建設は1箇所とする。
②望ましい候補地
★中津川市地藏堂883-1外教筆(現中津川斎場)
★苗木沼2219-1(広域農道沿大牧地内)
③建設地の場所によっては現在5箇所ある火葬場のうち、1箇所を残す。
④候補地の地元住民を含む市民の理解と協力が不可欠。

今後の計画等

- 検討委員会から報告のあった2箇所の候補地について造成費等を比較検討し、公平公正の視点にたつて1箇所に決めていきます。
- 1箇所を残すことについても、協議の中で論議することとします。
- 候補地を決定する過程をつねに公開し、地元の理解と協力が得られるよう説明していきます。

予定日

コミバスについて

平成 21 年度

情報交通課 586

質問 (加子母地区住民)

加子母・付知のバスが、一台増加されると聞いたが、運行日を月～金の毎日にならないか。

答弁 (市長)

○

予算措置は前向きに考えている。市内には未だルートから外れているところがある。ファミリーサポート事業の活用などを詰めている。NPOの活動も否定しない。

実施済・実施中の事項

■

・平成22年3月に車両を納入しました。
・平成22年2月9日加子母総合事務所と委託料の増額ではなく互助交通に向けた方向での打合せ等を実施しました。
・平成22年度より専用車両を配置し月～金までの運行としました。注:午前のみ運行

今後の計画等

予定日

市民生活の安全-雪対策

平成 21 年度

加子母総合事務所 590

質問 (加子母地区住民)

今年は近年にない大雪であり、除雪に苦勞している。少し大型の除雪機の購入、融雪材に配慮してほしい。

答弁 (市長)

○

・基本的に身の回りのことは地域の人にやってもらいたい、必要な機材などは市で準備する。どんな機材をどれだけ必要か、検討が必要。高齢化に伴って、もっと広い範囲で助け合いはできないか。

実施済・実施中の事項

●

・PTA役員・ささゆり会役員等意見を聴取・融雪剤については、各地区の市道等の凍結地に配置してあるほか、区長さんと相談の上、各公会堂などにストックしてあります。
・個人的なものについては、市販のものを購入して頂くよう指導しています。
・雪かき機については、3台あり雪の多い小郷地内と小和知地内がPTAを中心に利用しています、残りの一台は小中学校付近をかくよう学校管理としています。

今後の計画等

・とりあえず3台ある物をフル活用して、後3台(番田中切・上中下桑原・万賀角領)があると、良いと考えています。
・購入なら120センチ幅の物を購入するよう考えます。

予定日

市民生活の安全-雪対策

平成 21 年度

健康医療課 591

質問 (加子母地区住民)

健康診断など冬季だけでも加子母でできないか。

答弁 (市長)

△

医師等の都合もあるので検討させていただきたい。

実施済・実施中の事項

×

・加子母地区の平成20年度出生数は24人と少なく、適切な時期に健診を受けるため、付知地区と一緒に実施しています。
・加子母地域は施設が整備されており2歳児歯科健診、歯磨き教室、その他妊婦健診、離乳食教室、何でも相談などの事業について加子母の施設を利用し実施しています。

今後の計画等

・今後も限られた予算、人材で基本的には拠点を中心に行っていきたいと考え、地域の皆様にご理解いただけるよう機会をとらえて説明していきます。

予定日